甲賀市国際交流協会広報部　2022.冬　第 60 号

# News Letter KIS 通信

# 国際交流フェスタ 3 年ぶりに開催！～熱い想いをつなぐ～

10 月 2 日（日）に「まるーむ」で開催した「国ふぇす 2022 in Koka」は、天候にも恵まれ本当にたくさんの方にご参加いただき、3 年ぶりに賑やかな国際交流フェスタとなり、オンラインでつないだ 2 年間を取り戻すかのように、たくさんの人たちが笑顔で交流されていました。

## 生み出す活力受け継ぐ伝統

ブラジルのサンバはアフリカ系住民の民俗舞踊が起源とされています。多人種多民族国家といわれるブラジルの歴史の一端が伺われます。一方、水口囃子は、毎年 4 月 20 日に行われる水口曳山祭りと共に受け継がれてきた水口の伝統文化です。活きのいい音とリズムは、私たちの心に響き、体が動きますね。

# 国ふぇすの裏側

国ふぇすの「実行委員会」は、約 30 名のボランティアで構成され、コロナ禍でもありましたが、ZOOM と対面の 2 つの方法で今年 7 月上旬から準備をしてきました。

仕事帰りに参加する方が多く、夜の 7 時から 10 時の間で数多くのミーティングを実施してきました。3 年ぶりの開催ということもあり、ボランティアの皆さんはとても気合が入っていました。その中で新しいアイデアもいくつか生まれました。代表的なものは、ピニャータ（くす玉のようなもの）や外国籍起業家の参加、トークショー，クイズラリーです。来年 2023 年は、10 月 1 日（日）の開催が暫定日となっております。

**実行委員長から一言**

3年ぶりにもかかわらず多くの方がご来場くださり、皆さんと一緒にいろんなことを乗り越え最後まで無事に開催することができました。皆さんがフェスタの復活を待ち望んでいることが伝わり、本当にうれしい気持ちになりました。皆さんに愛される素敵なフェスタをこれからもずっと甲賀市で続けていきましょう！また来年お会いしましょう！たくさんのご協力、本当にありがとうございました。

# 外国籍起業家との出会いの場

甲賀市・湖南市・東近江市で主に「飲食業、美容関連、手工芸」分野で活躍されている外国籍起業家の方々約 16 団体に参加していただきました。普段は一定のコミュニティー内の方たちをターゲットに事業を展開されている方が多く、今回の参加は多くの方に自社サービスや商品を知っていただくとても良い機会になりました、という声が多くありました。中には、毎月国ふぇすを開催してほしいと希望されている方や"ふぇす"を通じて新規顧客や取引先が獲得できた方も数名おられました。

「国ふぇす」という場が、新しい出会いやきっかけを作る「対面式プラットフォーム In KOKA」の役割を果たしたのではないでしょうか。インターネットの普及で非対面のコミュニケーションや出会いが容易になりましたが、改めて対面での人と人とのつながりの大切さを再確認できた、とても良い機会になった"ふぇす"でした。

## 起業家の方たち

# お店紹介

左：マルタさん　右：テルマさん

甲賀市水口町山で「Recanto Alegre（レカント アレグレ）」というブラジルの家庭料理を提供するレストランを経営されているウラタキ マルタさん。"ふぇす"では娘のテルマさんと参加され、トウモロコシケーキやプリンなどを販売されました。マルタさんは、約 28 年前来日し、様々な工場でアルバイトをしながら 3 人のお子様を育てられました。

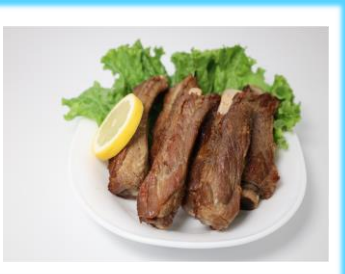
2008 年のリーマンショックの時には、多くの同国籍の方たちが国に帰る中、「私は日本で頑張り続ける」と決意し今日まで頑張ってこられました。還暦を過ぎたころ、自分の強みを生かして何かしたいという思いが募り、2020 年にレストランをオープンされました。下記の営業日に「ブラジルの家庭料理」を食べに是非お越しください。

Restaurante Bar Karaoké
DONA MARTA
COMIDA CASEIRA

○住所：甲賀市水口町山 2552-2
○TEL: 080-4818-5443 (日本語・ポルトガル語)
○営業日：火曜日～日曜日
○営業時間：平日：17 時から 21 時ごろまで
週末：12 時から深夜まで

牛スペアリブ（骨無）煮込

ビッフェ ア カバーロ



牛のスペアリブ

鶏のから揚げ

# 国ふぇす 2022 へのご協力、ありがとうございました。

甲賀市や近辺の市から多くのお店や団体、グループに出店・出展・出演等のご協力をいただきました。参加された方の中には、「来年はフィリピンの料理を出したい！」など、今後ますます外国人市民が主役となるお店が登場しそうです。お楽しみに。

**飲食コーナー**

ペルー料理　・SARA DESSERTS
・NAZCA　PERU
ベネズエラ料理　・Kiosko venezolano
ベトナム料理　・ふるさと
インド・ネパール料理　・タージマハルエベレスト
ブラジル料理・お菓子
・OMISAMPA RESTAURANT

・Mana foods
・BANZAI
・Sakura Petite Candy
・Recanto Alegre
・MIDORI DOCES
・BUFFET DE CRAPES JAPAN
・デリシャス アサイ　アサイー

**体験コーナー**

・世界にひとつの宝物づくり実行委員会
・JICA 滋賀デスク
・甲賀市介護人材定着促進協議会
・京子の折り紙
・甲賀看護専門学校
・Play kids Japan

**物販コーナー**

・ラベンダー工房
・Outlet Madame Sher
・NOVO VISUAL
・Flor Maniwa
・MS NAIL SALON
・CROCHE BY JUUH E MIMOS DA Só

**相談コーナー**

・大阪出入国管理局
・滋賀弁護士会外国人の権利委員会
・EGAO　Consulting
・甲賀市役所　多文化共生係

**展示・啓発コーナー**

・甲南高等養護学校
・人権推進協議会水口支部
・Smile Cleaning Services
・Strong MMA
・DeWitt Club
・甲賀市国際交流協会

**活動紹介コーナー**

・甲賀市役所　危機管理課
・甲賀市災害時多言語情報センター
・滋賀県立陶芸の森
・フードバンク
・あいコムこうか
・かふか 21 子ども未来会議

**ステージ**

・サンバチーム　アクアレラ
・水口ばやし合練会
・Academia Mi Perú
・SALSA　LATIN

**ボランティア**　・水口中学校　ボランティア部

**インターネットラジオ**　・RADIO SHIGA

# みなくちさんぽ　日本の歴史・文化を堪能する　11/27

名所旧跡を外国人に案内・説明する場合、日本人向けのガイドブックやパンフレットをそのまま使っても、理解されないことがあります。これは、外国人に日本人と同じだけのストック情報（知識）がなかったり、難しいことばや固有名詞が使われたりしているためです。日本語交流チームでは、参加者に理解してもらえるよう、やさしい日本語というツールで案内しました。

まるーむを出発した参加者とスタッフ 20 名は、晴天の下、歴史民俗資料館～水口神社～東海道ひとまち交流館～水口城などを歩いて散策しました。

事前に、各所の見どころを「やさしい日本語」で説明できるよう、チーム会議で勉強会をしたり、手作りの説明資料を準備するなどしたおかげで、外国人の参加者からは「やさしい日本語での紹介はわかりやすかった」という声がありました。

まるーむに戻ってきてからは、地元の銘菓や日本のお菓子などを皆で試食。「あんこ」や「干ぴょう巻き」が好評だったのは意外でした。

日本人も外国人も一緒に楽しめる企画となりました。

# オンラインで国際交流　韓国利川市・甲賀市の小学生　8/27

## 世界まなびじゅく「姉妹都市韓国利川市のともだちとはなそう！」

8 月 27 日、甲賀市の小学生 5 名と韓国利川市の小学生 5 名が、オンラインでつながり、それぞれの国の文化などを発表しあいました。

利川市からは①自己紹介②自分の弟③ビビン麺④キムチチャーハン⑤詩人ユンドンジュ、甲賀市からは①ソフトキャンディー②アニメ③まきずし④忍者村⑤水口城と忍術屋敷と、トピックも発表の内容も自分で考えて、3 分で実物や写真を見せたりしながらプレゼンをして、発表後は相手の国の小学生に質問もしました。

利川市の 5 年生の男の子は、自分の作ったキムチチャーハンを見せて発表、その後キムチチャーハンを食べたことがあるか甲賀市の小学生に質問しましたが、全員が「ない」と答えると、「韓国に来たら僕が作ってあげるよ」と満面の笑顔で言ってくれて、温かい雰囲気に包まれました。オンラインで発表というハードルの高い内容ではありましたが、韓国と日本の小学生が同じくらい上手に新しいオンラインツールを使って、自主的に考え積極的に発信できること、相手からの問いかけに柔軟に答えたり反応したりできることを見せてくれて、この子たちが担っていく利川市と甲賀市の未来が明るく感じられました。

# 外国人ゲストが大活躍！ハロウィンパーティー

10 月 30 日、3 年ぶりに対面でハロウィンパーティーができました。それでもまだコロナの影響で 30 名の募集となりましたが、申込開始後半日で定員一杯になりました。

当日は仮装をした小学生と、アメリカ、イギリス、中国からの 6 名のゲストが集まり、ハロウィンの文化を知るクイズをしたり、仮装コンテスト、アメリカ人のゲストにモンスターダンスを教えてもらったりアメリカのキャンプファイヤーでよく話される怖い話もしてもらいました。後半はゲストが様々なゲームを準備してくれて、子ども達はゲストの待つコーナーで一緒に遊びお菓子ももらいました。各コーナーで子ども達の楽しそうな声や笑いがたくさん聞こえました。

来年はコロナも落ち着いてもう少し多くの小学生に参加してもらえるハロウィンができることを心から願います。

# ちょっとした相談＆楽しい交流の「しゃべりば」

今年 6 月から、第 4 火曜日の夜に開催していましたが、平日の夜に立ち寄れる人も限られていることから、11 月、12 月は土曜日の夜に開催することになりました。

毎回参加してくださっているパキスタンの方は、今度は「○日の土曜日だね」と楽しみにしてくださっていて、参加者との会話を楽しんでおられます。まだまだ試行錯誤しながらですが、来年度 1 年かけて準備・検討し、体制についても整えていきたいと考えています。

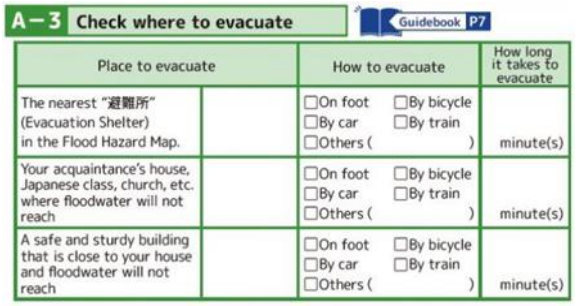
8 月に全国市町村国際文化研修所(JIAM)で開催された「外国人相談窓口研修」を受講した際に、「些細な事も話しにいけないようなところ、信頼できない人に、自分自身の大事な相談などはしない」という話がありました。

まずは、ちょっとしたことでも相談できる場や気軽に立ち寄れる場づくり、そして信頼できる人づくり、大切にしたいと思います。「外国人相談会＆しゃべりば」の開催案内については、当協会のフェイスブックページでお知らせしています。

# いろいろな視点で取り組む多文化防災

## ○防災マップの多言語化と活用方法　多文化防災会議

市民に配布されている甲賀市防災マップの多言語化については、地震や風水害のタイムラインの個所を優先的にし、既に、クレア（CLAIR：一般財団法人自治体国際化協会）が発行している多言語資料をできるだけ使うことにしました。外国籍市民への活用方法は、先ず、国際交流フェスタ（10 月 2 日）や甲賀市総合防災訓練（11 月 13 日）で試用しました。



A－3 Check where to evacuate　Guidebook P7

| Place to evacuate | | How to evacuate | How long it takes to evacuate |
|---|---|---|---|
| The nearest "避難所" (Evacuation Shelter) in the Flood Hazard Map. | | ☐On foot ☐By bicycle ☐By car ☐By train ☐Others (　) | minute(s) |
| Your acquaintance's house, Japanese class, church, etc. where floodwater will not reach | | ☐On foot ☐By bicycle ☐By car ☐By train ☐Others (　) | minute(s) |
| A safe and sturdy building that is close to your house and floodwater will not reach | | ☐On foot ☐By bicycle ☐By car ☐By train ☐Others (　) | minute(s) |

今後は、多言語化資料を地域で使える仕組みを考えていこうと思います。また、日本語交流チームや地域交流チーム等が取り組んでいる防災を取り入れた活動や地域での居場所づくりに防災を取り入れていることも、日常的な防災活動として注目すべきことです。

## ○外国人留学生等による草津市消防団機能別消防団員の取組～支えられる側から支える側へ～

以前にも紹介しましたが、今回、標記セミナーに参加し取材しました。総務省消防庁の機能別消防団員・分団という制度を活用し、外国人を採用。団員は、中国人、ベトナム人、フィリピン人などで、主に災害時支援の訓練を行い、母語を話す外国人のキーパーソンとなります。ベテラン団員のフィリピン出身の坂ジョセフィナさんは、英語とタガログ語で情報支援をしているとのこと。

当団員は、他の消防団員と同じ待遇を受けています。このような組織は、市民と行政の連携においても重要な役割を果たすと考えます。甲賀市には甲賀市女性消防隊がありますが、外国人の参画においても早期の検討が望まれます。

機能別消防団員：能力や事情に応じて特定の活動にのみ参加する消防団員。時間帯を限定した活動や特定の災害種別にのみ活動し、消防団の活動を補完する役割を期待されている。
（出典：ウィキペディア）

## ○甲賀市総合防災訓練　11/13

水口高校の体育館を会場兼避難所として、綾野区を対象に実施されました。協会の多言語情報支援センターの設置訓練では、市からの要請を電話で受けると、3 役で設置の検討をし、事務局員、理事に LINE グループにてその旨を連絡しました。

ブースでは、活動紹介や CLAIR の多言語情報資料などの説明配布、防災クイズで啓発をおこないました。協会独自翻訳資料としては、自助という観点から、甲賀広域行政組合消防本部が発行している家庭内ＤＩＧの英訳、ポルトガル語訳を配布し、転倒防止策、家庭内の危険個所などの点検を推奨しました。

綾野区民のみなさんを始め、市会議員団、警察、防災士、消防など多数の方が多文化情報センターを訪れ、本センターを一定理解していただいたことは、これまでにない成果でした。

また、今回は、避難所巡回模擬訓練もおこなうことができました。外国籍住民の参加者は４名でしたが、実感できる訓練だったと思います。地域、協会とも外国籍市民の参加をいかに促すか課題となりました。

# 各地域での交流　動けば見えてくる私たちのやるべきこと！　地域交流部会

外国籍市民が 8.9%の伴谷地区では、文化際で約 600 人の来場者があったとのことですが、案内があったものの、残念なことに外国人の方は誰ひとり来られませんでした。他、柏木地区での小学校との防災の検討、大久保地区のぶどうでの交流、希望が丘地区文化祭でのやさしい日本語を使った交流、貴生川学区での文化際での交流等ができました。

今やデジタル時代、印刷物より PC やスマホ上での情報のやり取りが急速に進んでいます。協会ではこのことを踏まえ、PR 戦略会議を設けました。と同時に、人から人に声かけすることは時代を問わず有効で必要なことです。

日頃のおつきあいや案内の方法など、地域の行事に外国人市民が参加しやすくなる工夫を一緒に考えていきましょう。

**写真は、伴谷地区文化祭での協会の活動紹介展示の様子です**

# シンガポールってどんな国？～シンガポールから学ぶ harmony～　11/19

東京オリンピック・パラリンピック 2020 をきっかけに、地域の活性化や観光振興等、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る市や町を国が登録する制度で、甲賀市はシンガポールのホストタウンとなりました。当協会でもシンガポールの事について知ろうと2020 年度に初めてイベントを実施。今回は 2 回目の開催です。

様々な民族・文化・言語・宗教が共存するシンガポールが調和的な多民族国家として繁栄し続けているのはなぜか。ゲストのリーさんより、歴史や国の政策から仕事や家庭生活にいたるまで、大変興味深いお話をしていただきました。また、リーさん手作りの切り絵やシンガポールで有名なお菓子もサプライズプレゼントとしてご用意下さり、シンガポールをより身近に感じていただけたのではないでしょうか。

**ゲストの JOAN LEE 氏より一言**

I'm so glad that KIS gave me a 2nd chance to share my country, Singapore again. With the theme of "Harmony", let's try to balance our life with more understanding & equality. Hopefully, there's more chances to share in different ways too.　I ❤ SG！

昨年に引き続き再び、私の国シンガポールを紹介するチャンスをいただけたことを嬉しく思います。今回の「ハーモニー(調和)」というテーマのように、よりお互いを理解し、より平等に、バランスよい生活を送るように努めていきましょう。またなにか他の方法でも、国や文化を紹介するチャンスがあることを期待しています。

I ❤SG　（SG は Singapore と Shiga に共に含まれていることから、Joan さんはシンガポールも滋賀も大好きでふるさとと思っていると、当日お話の中で言われていました。）

**参加者感想**

❤シンガポールについてあまり知らなかったので、少し学べて良かったです。プレゼントもありがとうございました！すばらしい作品展も用意していただいてありがとうございました。近いうちにもう 1 回イベントに参加したいと思います。

❤シンガポールという名前は知っていても、どんな国なのかほとんど知りませんでしたが、リーさんの説明はわかりやすく、楽しく学ばせていただきました。シンガポールに興味がわいてきました。

❤HAPPY RACIAL HARMONY DAY（7 月 21 日）は素晴らしい日ですね。まさに「多文化共生社会」があたりまえなのですね。

# 学校や地域で「多文化共生」の学び進む

地域や学校などから依頼をうけ、多文化共生をテーマに、「やさしい日本語」や「国際交流協会の取り組み」等についてお話しをさせていただく機会が増えてきたことは、大変すばらしいことです。

・9 月 3 日は、恒例となっている**甲賀看護専門学校の看護セミナー**での講座を行いましたが、3 年続けてオンラインでの開催となりました。医療通訳者の中塚ナディアさんからは、ペルーの保険制度と日本の保険制度の違いによる混乱などについてお話しいただき、当協会の高野理事からは「医療現場でもやさしい日本語を」と題してお話しいただきました。また、上原理事による「やさしい日本語ビンゴゲーム」では、「現在服用中の薬の有無」や「既往歴の有無と傷病名」などの言葉を「やさしい日本語」に言い換えるなどの難題もありました。

・9 月 11 日には、**かふか 21 子ども未来会議「甲賀市子ども議会」**の皆さんを対象に、甲賀市が「魅力あふれる多文化共生のまち」として発展していくために、自分たちに何ができるか、どんなことを提案し、実現していくのかを考える機会として、甲賀市の外国人市民の現状や国際交流協会の役割や取り組みについてお話しをさせていただきました。また、当協会の日本語交流チームのメンバーによる「やさしい日本語」のワークショップでは、国際交流フェスタで外国人の来場者にインタビューをしたり、甲賀市の良いところを紹介したりするために、どうしたら外国人に伝わりやすいか等を考えました。「やさしい日本語」はもちろん、イラストや写真、実物を見せる方がわかりやすかったら、それも「やさしさ」であるということに気がついていただけたのではと思います。

・10 月 29 日.30 日に開催された**伴谷自治振興会の文化祭**では、当協会の活動紹介パネルを展示させていただきました。他関連記事 6 頁参照

・11 月 10 日には、毎年恒例となっている**水口東高等学校の甲賀探求の学習**のお手伝いをしました。生徒らからは、医療現場での対応や外国人との交流、駅やバス停、時刻表等の外国語表示などについて提案や質問がありました。

・12 月には、**水口高校や甲西高校**の生徒の学びのお手伝いもありました。

# 甕（オンギ）づくりとキムチづくり 11/26

## 「静中動：韓国のスピリットをたどる―開かれた陶のアート」展関連事業

滋賀県立陶芸の森の特別展「静中動：韓国のスピリットをたどる―開かれた陶のアート」展関連事業として行われた、キムチを漬ける甕（オンギ）づくり、キムチづくりに、「甲賀市と利川市の交流」「姉妹都市・利川市の紹介」の動画を作成し、協力させていただきました。

11 月 26 日に開催された「キムチづくり」当日は、参加者が待っておられる間や歓談の間に、多くの方にご覧いただくことができました。

また、参加者にお渡しされた小さなキムチの甕「オンギ」については、利川市の陶器屋さんから仕入れてくださったもので、参加者の皆さんにも、「甲賀市の姉妹都市の利川市でつくってもらって、送ってもらったものです」と紹介してくださっていました。

キムチづくりの講師は、利川市の訪問団が甲賀市に来られた際にもお世話になった、在日本大韓民国婦人会 滋賀県地方本部の李美姫会長で、婦人会の皆さんと何日もかけて準備をしてくださいました。

当協会でも「キムチづくり体験」をしてみたいですね。

# 外国につながる子ども・保護者のための進路ガイダンス

昨年度からはじまった「外国につながる子ども・保護者のための進路ガイダンス」が、10 月 16 日に開催されました。

事前に申込みのあった、中国、ブラジル、ペルー、フィリピンにつながりのある子どもと保護者 30 名ほどが参加され、各言語に分かれて受験のことなどについて説明があり、熱心に質問もされていました。進学するための準備や必要なお金のことなど、知らなかったという方もおられ、「お金がかかるから進学をあきらめる」ということのないよう、必要な情報を提供することが大切です。

説明会の前には、ブラジルやペルーにルーツのある先輩から、インタビュー形式での体験談を聴くことができ、それぞれの努力により、助産師の道に進んだことや進学校で部活・勉強に頑張っていることなどをお話しいただきました。

「親が日本人ではないことを友達には知られたくなかった」という心の葛藤もあったとのことでしたが、「お母さんが頑張って日本語の勉強をしている姿をみて、私も頑張ろうと思った」など、改めてお母さんへの感謝の気持ちも伝えられました。

**～考えよう～**

文科省によると 2019 年の高校進学率は 98.8%、外国人生徒の高校進学率は、2020 年日本学術会議の分科会の提言では、60%台にとどまっています。

当会議は、主な要因として(1)日本語力の不足で勉強についていけない (2)経済的に困難で進学を断念する (3)日本の学校や高校入試の仕組みに関して、知識や情報が得にくいなどを想定しています。

## ●グローバルセミナー（予告）

テーマ：外国につながる子どもたちの未来を拓く
日時：2023 年 3 月 18 日（日）午前 10 時～正午 12 時
場所：甲賀市役所別館 101 会議室
講師：特定非営利活動法人 可児市国際交流協会
事務局長 各務 真弓さん
定員：50 名　　参加費：無料

**Together** ◆４年に１度の祭典サッカーW杯。今回はアルゼンチンの優勝で幕を閉じました。日本代表も素晴らしい戦いでしたね。あなたの国はどうでしたか？◆日本代表のお腹を満たした専任シェフの西芳照（よしてる）さんは、外国語はカタコトしかできないそう。それでも自分から話しかけていくと、そのうちに、現地スタッフとも心が通じ合っていくのだそうです◆お互いを分かり合うポイントは、実は身近なところに。その思いが共有され、激闘はスポーツの中だけにと願う今日この頃です（H）

甲賀市国際交流協会
Koka International Society
〒528-0005 甲賀市水口町水口 6053 甲賀市役所別館 2F
TEL:0748-863-8728 FAX:0748-70-6468 Email: mifa@mx.biwa.ne.jp
月～金（祝日除く AM9:00～PM5:30）